

令和2年度事業報告

第1 概況

シルバー人材センター事業は高齢者に生きがいと働きがいを与え、活力ある地域社会の実現に大きな役割を果たしてきているが、近年は定年年齢の引き上げ、65歳以上の高齢者が活躍する企業の増加や、シルバー類似の業務を行うNPOなどに高齢者が就業する等で、就業を希望する高齢者が県下のシルバー人材センター（以下、「センター」という。）に集まりにくくなっており、会員の拡大に苦慮している現状がある。

昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大という、いままでに経験したことのない事態により、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）も大きな影響を受け、会員の拡大、就業機会の拡大という基幹となる課題の双方で目標からの低下に悩まされている。

県下の雇用失業情勢は有効求人倍率が1.1倍台で推移しており、企業における求人意欲が低下しており、また雇用維持が困難となった業種では離職者も増加し、特に高齢者のハローワークへの登録が増加している。しかしながら、ハローワークで就業先を探す者の多くは一定以上の収入を求める者が多いため、シルバーでの働き方を了解する者は少なく、センターにおける新規会員の不足の原因の一つとなっている。

一方、新型コロナの影響によりセンターでは発注者の利用手控え、会員の就業辞退などが多く、センターのこれまでの大きな就業の柱である草刈や植木剪定、施設の清掃業務など売り上げの減少に歯止めがかからない状況が続いている。

受注面では、令和3年3月末現在での請負による契約金額は45億8千7百万円程度で、前年度比▲5.3%となっている。一方、派遣での契約金額を比較すると11億3千800万円程度となり、前年度比▲6.4%となっている。請負での減少と派遣の減少が同程度で低下しており、新型コロナの影響が大きいものと考られる。

これへの対応として、新規会員の拡大については、各センターが最優先課題として取組みを行い、連合会では県下全域を対象として周知広報活動を行い、またハローワークにおける求職者へのシルバー事業の情報提供や就業情報の配布など行政の協力を得るなどして会員増加への支援を行った。

しかしながら、これらの取組みを行っても令和3年3月末の会員数は10,763名と、令和2年度期首に比べ320名の減少となった。

退会を表明する会員に対してそのまま退会を認めるのではなく、ヒアリング実施のうえ対応をするべくセンターに依頼して、退会抑制の取組みを行った。

新規会員を確保するには就業先の確保も必須であり、増加しつつあるホワイ

トカラー層会員の就業を促すため、屋外作業である「草刈り、植木の剪定」以外の職種を提案する事が必要であり、ヒアリングとマッチングをうまく実施して就業に繋げていく取組みをセンターに示しているが、コロナの下では就業開拓の業務は実施困難である。しかしながらこの取組みを今後も続けることにより会員の拡大及び60歳台前半層の女性を積極的に勧誘する取組みにより女性会員の比率拡大に向け支援を行う。

個別の事業実施状況は次のとおりである。

第2 事業実施状況

1 シルバー人材センター事業

(1) 安全就業及び適正就業推進事業

シルバー事業の運営にあたっては、「安全はすべてに優先する」の観点から会員の安全への意識啓発、事故防止対策に組織を挙げて取り組んだが、死亡事故1件を含む9件の重篤事故が発生した。

ア、「三重県安全・適正就業推進大会」及び「安全・適正就業パトロール」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ、第1回安全・適正就業対策推進委員会 令和2年6月22日

第2回安全・適正就業対策推進委員会(Zoom会議) 令和3年2月18日

ウ、適正就業に関しては、受注リストの点検をセンターの協力を得て実施し、請負で契約している業務の内容点検を行った。ごく一部に不適正な契約があったため、是正に向けての説明を担当者及び局長に行った。全体として、適正就業ラインの内容は理解が進んでいると判断する事が出来たが、今後は発注者への指導に工夫が必要である。

(2) ■ シルバー派遣事業

シルバー派遣を行う16センターのうち、11センターについては、新型コロナウイルス感染防止の影響で地域の産業活動が低調で事業実績は低下し、受注件数、契約金額とも前年度に比べ減少した。

ア、派遣事業推進委員会をZoomにより実施した。

令和3年2月17日 場所、連合会会議室及び各センター

イ、派遣元責任者講習の受講

令和2年9月29日、大阪市 参加者4名(他会場1名)

(3) 普及啓発事業

県内全域を対象に、シルバー人材センターの理念や事業内容を周知して、シルバー事業の理解と参加を求めるために、様々な機会をとらえて普及啓

発活動を計画したが、新型コロナウイルス感染防止措置の制約から街頭や商業施設でのチラシ配布は中止した。

ア、広報誌「シルバーみえ」第38号の発行

センターの活動内容、年間実績等を掲載し、普及活動に努めた。

令和2年12月 13,000部作製配布。

イ、会員募集チラシ、ポスターの作成及び配布

シルバー事業について、地域住民、企業等に理解・協力を広めるとともに、会員の拡大や仕事の発注を促すため、会員募集チラシを作製配布した。

また、三重県の協力を得て県内コンビニ、スーパーでの会員募集チラシ・ポスターを配布・掲示することにより普及啓発を行った。

ウ、普及啓発促進月間及び「シルバーの日」を中心とした啓発活動

毎年10月に全国的に展開される「普及啓発促進月間」に合わせ、10月17日(土)を「三重県シルバーの日」と定め、地域の実情に応じた美化活動・街頭宣伝活動等を実施し、地域住民に対してシルバー事業のPRを行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛したセンターが相次いだ。その一方で、感染防止対策を講じて県内7センターにおいて実施され、例年とは違う内容の活動とされたり、地域の学校・公園等の公共の場でシルバー旗掲揚のうえ、清掃活動等を行った。活動状況は地域のメディアに取り上げられるなどして、PRにつながった。

エ、広報・会員募集活動

令和2年度でも県内公共職業安定所内にセンターの会員募集チラシ、就業情報の掲示スペースを設け、シルバー事業の広報・会員募集活動を行った。また、四日市公共職業安定所開催の「高年齢者就職面接会」への参加及び毎月開催する退職者向け「年金と仕事セミナー」において定期的にシルバー事業の紹介、会員募集を行った。鈴鹿公共職業安定所及び津公共職業安定所においては「生涯現役世代シニア就職面接会」に参加してシルバー事業の紹介、会員募集を行った。

(4) 就業開拓推進事業

高齢者に相応しい臨時的かつ短期的又は軽易な仕事を組織的に確保・提供してゆくため、毎年センターの就業開拓担当者の参加を求め、業務担当・就業機会創出員研修会を開催し、就業開拓分野の拡大についての具体的な手法を伝達することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(5) 経験交流・研修事業

センターの役職員・会員を対象にシルバー事業の現状認識や課題等への取組みの進め方や資質の向上に係る事を目的とし事業を計画したが、実施は限定的であった。

- ・理事、事務局長、職員を対象とした分野別研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止、又は Zoom による開催とした。
- ・全シ協主催の安全・適正就業指導員会議、福祉家事担当者会議、東シ協開催の経験交流大会への積極的な参加を勧めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止や Zoom での開催であった。

(6) シルバー事業未設置町の解消及び加入促進等

県内のシルバー未設置 2 町のうち、度会町社会福祉協議会から設置についての打診があり、具体的な設置の場合は支援を行うこととした。任意団体であるシルバー人材センターには三重県と協力して法人化・国庫補助団体への移行のための相談を受けるとともに、移行準備への支援を行った。

(7) 指導相談事業

センターの円滑な事業運営を図るため、三重労働局と三重県が実施する法人シルバーの指導監査に立ち会うとともに、個別指導を 10 センターに対して実施した。

(8) 福祉・家事援助サービス事業

福祉・家事援助サービスの業務は、従前よりシルバーの伝統的ともいえる家事援助サービスを主体として運営しており、さらに新たな介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）に対する参加推進を行ってきた。従来型の家事援助サービスは一定利用がされているが、新総合事業では参入にあたって介護業務関係での知識・経験が要求されること、また、ケアマネージャーなど実務を担う担当者がシルバーで行う福祉・家事援助サービスの業務を知らない事もあるため、今後の連携を図るため、三重県社会福祉協議会へシルバー人材センターで行う生活支援サービス類似の業務について説明して、今後の連携を申し入れた。

連合会に設置している福祉・家事援助サービス事業推進委員会では事業推進基本計画に基づき課題や改善について種々の事業を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の実施は限定的であった。

- ア、「福祉・家事援助サービス月間」の取組みでは、12月を実施月間と定めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動自粛が相次いだ。数センターにおいては工夫を凝らした活動を実施した。
- イ、子育て支援事業の推進のため、情報提供・助言を行った。
- ウ、高齢者活躍人材育成事業技能講習の場で普及啓発を行うとともに、福祉家事援助サービス事業に携わる会員の拡大を行った。
- 尚、例年開催している「シルバーいきいきフェスタ」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(9) 有料職業紹介事業

現在15センターが連合会事務所として開設しているが、実際に有料職業紹介を行ったセンターは無かった。派遣労働者を対象として紹介予定派遣を行おうとするセンターが見込まれる。

職業紹介責任者講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため受講の参加自粛をした。

2 高齢者活躍人材確保育成事業

人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進することを目的とした積極的な周知・広報を行い、またセンターの協力を得ながら就業体験・技能講習を実施した。

(1)実績

令和2年度に実施した技能講習・就業体験は、次のとおり10講習を16会場で開催し、受講修了者数は117人であった。

また、周知・広報による入会者数も含め、目標でもある新規入会者数105人以上に対して、2月末現在で111人となっており、三重労働局から提示された目標値を達成できた。

令和2年度高齢者活躍人材確保育成事業結果

(人)

技能講習就業体験名	実施回数	受講者数	入会者数
育児のおしごと講習	1	7	2
調理のきほん講習	1	5	
植木の手入れ講習	1	9	1
野菜の栽培講習	1	10	
きちんと片付け&掃除講習	3	22	3

やさしいパソコン講習	2	13	1
保育体験	1	2	1
剪定体験	3	24	2
公園管理	1	8	2
草刈り体験	2	17	4
周知・広報			95
合計			111

尚、4会場で就業体験及び、技能講習が中止となりました。

(2) 追跡調査

センターの協力を得て、高齢者活躍人材確保育成事業に関連した周知・広報、技能講習、就業体験による新規入会者数、及び就業者数などの調査を毎月実施し、新規入会者数その他の情報把握を行った。

(3) 企業ニーズの把握

企業別に500事業所を無作為に抽出し、企業ニーズ把握のためにアンケート調査を行うとともに、企業情報を関連センターに情報提供を行った。

(4) 周知・広報活動

高齢者を対象に、新聞広告、ポスターの掲出、テレビによる広報、拠点のセンター・県下ハローワーク・三重県運転免許センターなどの公共施設・鉄道（JR・近鉄）駅などのポスター掲出、三重交通バスのラッピング広告などを行った。

主な活動としては下記のとおりである。

- ア、各種パンフレット（講習・シルバーの案内など）を制作、配布をした。
- イ、各種ポスター（2種類）を制作、配布、掲出をした。
- ウ、ホームページの高齢者活躍人材確保育成事業内容をリニューアルした。
- エ、受講者と、その他普及啓発などにグッズを制作、配布した。

尚、2会場で予定をしていたセミナーは中止となった。